

日本バイオレオロジー学会の会員の先生方へ

コロナ禍の中で日本バイオレオロジー学会の会員の先生方はいかがお過ごしでしょうか。ご自身の研究活動や日常業務にも様々な影響が及んでいるのではないかと思います。With Corona・Beyond Corona 時代の本学会のあり方を考える好機になればと願うばかりです。

さて第 44 回日本バイオレオロジー学会年会と第 2 回 ESCHM-ISCH-ISB 国際会議は来年度 7 月 3-7 日（7 月 3-4 日が年会、4-7 日が国際会議）に連続していずれもオンラインで開催されます。

下記のようにいずれも既に HP が公開されており学会の HP (<http://www.biorheology.jp/>) からアクセスできます。

- 第 44 回日本バイオレオロジー学会年会: <https://eform.site/biorheology44/>
- 第 2 回 ESCHM-ISCH-ISB 国際会議: <http://www.congre.co.jp/eschm-isch-isb2021/>

日本語と英語で発表できる学会が連続的に開催されますので、指導学生の研究内容に  
応じて戦略的な学会発表を工夫出来るのではないかと考えられます。

いずれもオンライン開催ということで旅費や宿泊費の心配なく、比較的廉価で研究室から参加できます。また国際会議にご登録の先生方は年会の参加費が無料となります。しかも国際会議は終了後もオンデマンドで視聴することができます。

学会員の先生方は、本学会以外にも関連する学会に数多くご所属かと思えます。どうか上記の HP アドレスの関連学会へのリンクをお願いできましたら幸いです。申請に当りましては理事長から関連学会へのお手紙を差し上げますのでお気づきの先生はご連絡ください。

以上、何卒宜しくお願い申し上げます。

令和 3 年 2 月 25 日

第 44 回日本バイオレオロジー学会年会 年会長 一杉 正仁  
第 2 回 ESCHM-ISCH-ISB 国際会議 会長 丸山 徹